

■ ■ トップニュース □ □

1. 【お知らせ】 意思の表出：提言・見解・報告の公表について
2. 【開催案内】 日本学術会議主催学術フォーラム  
「カーボンニュートラルに向けたエネルギー供給側と需要側の連携」
3. 【開催案内】 公開シンポジウム「研究者養成から社会実装人材へー博士教育の再設計」
4. 【お知らせ】 特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について
5. 【日本学術振興会】  
令和 9（2027）年度分二国間交流事業（共同研究・セミナー）の公募について
6. 【日本学術振興会】 第 18 回 HOPE ミーティングの公募について
7. 【日本学術振興会】 リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業への参加者募集について

- ■ -----
1. 【お知らせ】 意思の表出：提言・見解・報告の公表について

----- □ □

【見解】 日本学術会議は、会則第 2 条第 4 号に掲げる意思の表出として、  
以下の見解を公表しました。

・ 6月5日

○見解「婚姻の平等実現に向けた民法改正への提案― 相次ぐ違憲判決をふまえて―」

<https://krs.bz/scj/c?c=594&m=66866&v=53d4dfd1>

(要旨) <https://krs.bz/scj/c?c=595&m=66866&v=f65f4fdf>

○見解「ジェンダー統計充実に向けた性別情報の意義」

<https://krs.bz/scj/c?c=596&m=66866&v=c3b2f98c>

(要旨) <https://krs.bz/scj/c?c=597&m=66866&v=66396982>

【報告】日本学術会議は、会則第2条第5号に掲げる意思の表出として、

以下の報告を公表しました。

・ 6月5日

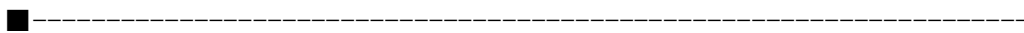
○報告「デザインをめぐる知の構築と社会的理解に向けて― 公共的価値を支える多様な知と実践へ ―」

<https://krs.bz/scj/c?c=598&m=66866&v=8462069d>

(要旨) <https://krs.bz/scj/c?c=599&m=66866&v=21e99693>

【提言・報告等は、ウェブサイトからもご覧になれます。】

<https://krs.bz/scj/c?c=600&m=66866&v=a9c933c2>



2. 【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム

「カーボンニュートラルに向けたエネルギー供給側と需要側の連携」

---

・日時：令和8(2026)年7月15日(水) 13:00～17:00

・場所：日本学術会議講堂(ハイブリッド開催)

・主催：日本学術会議

・開催趣旨：

従来、エネルギーシステムの供給側と需要側は、「エネルギーを環境に影響を与えず、安全、安価、安定的に供給する」と、「同じサービスをできるだけ少ない需要で実現する」ことで明確に分担され、またそれぞれの背景となる学術分野が異なることもあり、別々に研究されることが通例でした。しかしながら、エネルギー供給システムの姿は需要側の都市や産業のエネルギーシステムに影響を与えるため、とりわけ寿命の長い都市・建築のエネルギー計画においては将来のエネルギー供給技術の動向を把握することが求められます。一方で、データセンターの増大が原子力発電の普及を必要とするといわれるように、需要の将来の姿がエネルギー供給システムに影響を与えることもあり得ます。更に、近年の変動性再生可能エネルギーの普及は、これまで電力供給側が一手に担ってきた需給調整の役割の一部を需要側がデマンドレスポンスとして担うことを必要とし、また災害時のレジリエンス確保のためには供給側と需要側が補い合う必要があるなど、様々な需要と供給の連携が求められる様にもなっています。

日本学術会議の土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同カーボンニュー

トラル都市分科会および総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会ではこれまで関連する様々な議論をおこなってきました。今回両分科会が共同で供給と需要の両面からカーボンニュートラル時代のエネルギーシステムのあり方を議論する場として、今回のフォーラムを企画しました。

・次第：<https://krs.bz/scj/c?c=601&m=66866&v=0c42a3cc>

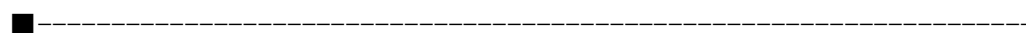
・参加費：無料

・事前申し込み：必要、以下の URL からお申し込みください。

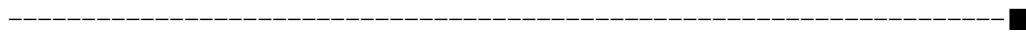
<https://krs.bz/scj/c?c=602&m=66866&v=39af159f>

・問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295



### 3. 【開催案内】公開シンポジウム「研究者養成から社会実装人材へ—博士教育の再設計」



【主催】日本学術会議第三部理工系博士人材育成分科会

【後援】公益社団法人日本地球惑星科学連合、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会、公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本数学会、一般社団法人日本物理学会、一般社団法人日本航空宇宙学会、一

般社団法人資源・素材学会

【協賛】 一般社団法人電子情報通信学会

【日時】 令和8（2026）年6月10日（水）13：00～17：00

【場所】 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）（ハイブリッド開催）

【参加費】 無料

【事前申し込み】 令和8（2026）年6月8日（月）までに下記リンク先より、ご登録ください。

<https://krs.bz/scj/c?c=603&m=66866&v=9c248591>

【開催趣旨】

大学院教育改革と博士人材のキャリア多様化が進む中、依然として残る「博士＝研究者」という固定観念を乗り越え、産学官が共有すべき博士人材像を明確にすることを目的とする。大学・企業・政策関係者が一堂に会し、現在進められている大学院教育の現状を確認し、建設的対話を通じて社会から広く必要とされる高度専門人材育成の方向性を共有する。

【プログラム】 <https://krs.bz/scj/c?c=604&m=66866&v=52747939>

【問い合わせ先】

メールアドレス：dai3gakujujtsusympo260610(a)gmail.com ※(a)を@にしてお送りください。



4. 【お知らせ】 特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について



令和7年6月11日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和8年10月1日に法人へ移行することとなりました。

こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://krs.bz/sc.j/c?c=605&m=66866&v=f7ffe937>



## 5. 【日本学術振興会】

令和9（2027）年度分二国間交流事業（共同研究・セミナー）の公募について



「二国間交流事業（共同研究・セミナー）」は、我が国の大学等の優れた研究者（若手研究者を含む）が相手国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーの実施に要する経費を支援するものです。このたび令和9（2027）年度採択分の募集要項を公開いたしましたので、お知らせします。

### 【日本学術振興会二国間交流事業 募集要項・申請書】

<https://krs.bz/sc.j/c?c=606&m=66866&v=c2125f64>

【受付期間】 令和8（2026）年6月下旬頃～9月3日（木）17：00

※申請者の所属機関によって機関内での締切日が異なりますのでご注意ください。

【チラシ】（以下のリンクよりダウンロードいただけます。）

<https://krs.bz/sc.j/c?c=607&m=66866&v=6799cf6a>

【問い合わせ先】

独立行政法人日本学術振興会

国際事業部 研究協力第二課

Tel: 03-3263-1755, 2367, 2362, 2197

E-mail: kenkyouka13(a) jsps. go. jp ※(a)を@にしてお送りください。



6. 【日本学術振興会】第18回HOPEミーティングの公募について



「HOPE ミーティング」は、博士課程学生及び若手研究者が、ノーベル賞受賞者をはじめとする著名研究者やアジア・太平洋・アフリカ地域から選抜された同年代の研究者と交流する合宿形式の会議です。このたび第18回HOPE ミーティングの日本側参加者の募集を開始いたしましたのでお知らせします。

【開催日程・場所】令和9（2027）年2月28日（日）～3月4日（木）（神奈川県横浜市[予定]）

【申請資格】博士課程（後期）学生・若手研究者

【申請締切】令和8（2026）年9月8日（火）17:00（日本時間）

【申請方法】申請者本人が、HOPE ミーティング専用電子申請システムより申請

【募集要項】<https://krs.bz/sc.j/c?c=608&m=66866&v=85c2a075>

【チラシ】<https://krs.bz/sc.j/c?c=609&m=66866&v=2049307b>

【問い合わせ先】

独立行政法人日本学術振興会

国際事業部研究協力第一課「HOPE ミーティング」担当

E-mail: hope-meetings(a) jsps. go. jp ※(a)を@にしてお送りください。

■■-----  
7. 【日本学術振興会】リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業への参加者募集について

-----□□

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議とは、ドイツ南部のリンダウ市において、30名程度のノーベル賞受賞者が世界各地から集った博士課程学生及び若手研究者に対して講演やディスカッションを行う国際会議です。このたび令和9年度リンダウ・ノーベル賞受賞者会議への参加者の募集を開始いたしましたのでお知らせします。

【対象分野】 生理学・医学分野

【開催日程】 令和9（2027）年6月27日（日）～7月2日（金）

【申請資格】 博士課程（後期）学生・ポスドク研究者

【申請締切】 令和8（2026）年8月3日（月）17：00（日本時間）

【申請方法】 申請者の所属機関を通じた電子申請システムによる申請（所属機関が日本国内の場合）

【募集要項】 <https://krs.bz/sc.j/c?c=610&m=66866&v=4ed49555>

【チラシ】 <https://krs.bz/sc.j/c?c=611&m=66866&v=eb5f055b>

【問い合わせ先】

独立行政法人日本学術振興会

国際事業部研究協力第一課

「リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業」担当

E-mail : lindau(a)jpsps.go.jp ※(a)を@にしてお送りください。

\*\*\*\*\*

日本学術会議公式X

<https://krs.bz/sc.j/c?c=612&m=66866&v=deb2b308>

日本学術会議 YouTube チャンネル

<https://krs.bz/sc.j/c?c=613&m=66866&v=7b392306>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュース・メールは転載自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/sc.j/c?c=614&m=66866&v=b569dfae>

**【本メールに関する問い合わせ】**

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関する問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://krs.bz/sc.j/c?c=615&m=66866&v=10e24fa0>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34